

東日本大震災における 原発事故による 福島への損害賠償と復興

これまでの歩みとこれから

2024年

2月17日(土) (13:30開場)
14:00~17:00

2月18日(日) (9:00開場)
9:30~12:30

京都大学 国際科学イノベーション棟 シンポジウムホール

zoomを活用したオンライン参加とのハイブリッド開催を予定しています
(会場定員: 250名・オンライン定員: 500名)
YouTubeでのライブ放映も予定しています
シンポジウム終了後は、オンデマンドで公開を予定しています



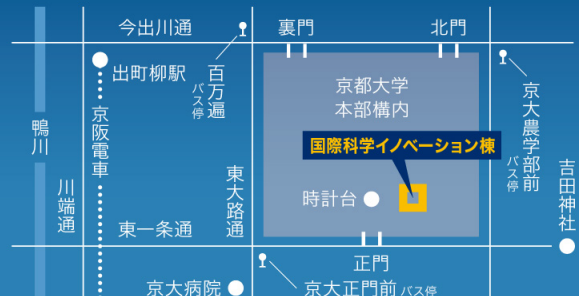
参加無料

参加ご希望の方は、左のQRコードまたは
ホームページよりお申し込みください。

<https://www.caps.kier.kyoto-u.ac.jp/>

主催 京都大学経済研究所 先端政策分析研究センター (CAPS)

共催 京都大学社会科学統合研究教育ユニット/公益財団法人 KIER経済研究財団



先端政策分析研究センター
The Research Center for Advanced Policy Studies



京都大学経済研究所
Kyoto Institute of Economic Research

2月17日(土) 福島の原子力損害賠償

14:00~14:10

開会の挨拶 西山 慶彦 京都大学経済研究所長

14:10~15:10



基調講演1

中間指針と原賠ADRセンターによる
福島原発事故の被害者救済の
実績と課題

松浦 重和

文部科学省研究開発局 前・原子力損害賠償対策室室長代理



基調講演2

福島における原子力損害賠償の
法的意義と今後の課題

大塚 直

早稲田大学法学部教授・原子力損害賠償紛争審査会 前会長代理

15:10~15:50



話題提供1

福島第一原子力発電所事故による
被害と賠償の実態

大坂 恵里

東洋大学法学部法律学科教授



話題提供2

原子力損害賠償の国際的な歴史の歩みと
福島原発事故における原子力損害賠償に
対する国際的な受けとめ

北郷 太郎

OECD/NEA運営委員会副議長・原子力法
委員会副議長、IAEA国際原子力賠償専門
家G委員、第3回原子力損害補完補償条約(CSC)締約国等会議議長、
原子力損害賠償・廃炉等支援機構執行役員

16:00~17:00

パネル討議 福島の原子力損害賠償の現状と課題、今後の展望について

話題提供者 鎌田 薫 早稲田大学前総長・原子力損害賠償紛争審査会 前会長

パネリスト 基調講演者および話題提供者の4名

ファシリテーター 山下 恭範 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター特定准教授

2月18日(日) 福島の復興や街づくり

09:40~10:10



基調講演

これまでの福島復興の取組と
今後の課題

新居 泰人

内閣府 福島原子力事故処理調整総括官
(元 福島相双機構 専務)



話題提供2

福島県における教育研究に関する
新たな取り組み

木村 直人

福島国際研究教育機構理事

10:10~11:10



話題提供1

除染とふるさと
～復興に向かう浜通りの点描～

小沢 晴司

宮城大学教授・福島大学客員教授・広野町夢大使・
元環境省福島環境再生本部長



話題提供3

なぜ今、福島浜通り地域が
一番熱いのか。

高橋 大就

一般社団法人NoMAラボ代表理事・一般社団法人東の食の会
専務理事・福島浜通り地域代表

11:20~12:20

パネル討議 福島の復興・新たな街づくり・コミュニティづくりなどの今後の展望について

話題提供者

長谷山 美紀

北海道大学副学長・大学院情報科学研究院長

パネリスト 基調講演者および話題提供者の4名

ファシリテーター 山下 恭範 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター特定准教授

12:20~12:30

閉会の挨拶 溝端 佐登史 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター長